

表2. 感染症流行への備え 教育機関

時系列	平常時	第1段階海外発生期	第2段階国内発生早期	第3段階感染拡大期
目的 カテゴリー	1)発生に備えて体制の整備を行う。 2)国際的な連携のもと、迅速な情報収集と確認に努める。	1)ウイルスの国内侵入をできるだけ阻止する。 2)国内発生に備えて体制の整備を行う。	1)国内での感染拡大をできる限り抑える。	1)健康被害を最小限に抑える。 2)医療機能、社会・経済機能への影響を最小限に抑える。 3)社会・経済機能の回復を図り、流行の第二派に備える。(小康期)
組織 連携 の 策と マ ス コ ミ ニ コ ム シ ョ ン シ ス テ ム の 整 備	●保健所、県・市の教育委員会、周辺の学校、住民組織との連携強化	●近隣の学校、教務委員会、保健師との対策会議を開催し、準備状況および連携の仕方等の確認	●検査・治療がスムーズに行われるための支援 ●教育委員会・保健所、住民組織、周辺学校との情報の共有	●サーベイランス情報の共有 ●地域医療機関の検査・治療体制情報の確認と共有
マ ニ ュ ア ル の 運 用 と 整 備	●健康危機管理に備えた広域感染対策モデルとしてnoマニュアル作成 ●マニュアルを活用したシュミレーションによる合同訓練 ●教職員の危機管理能力育成のための学習会等の開催	●マニュアルの確認と周知 ●関連機関との情報の共有	●マニュアルの運用と適宜更新	●マニュアルの運用と適宜更新
学校保健活動	組織 づくり	●健康危機管理部門の初動準備 ●対策本部の初動準備	●学校内の対策本部の発動 ●健康危機管理部門の発動 ●マンパワーの要請と活用	●状況に応じた健康危機管理部門の活動体制の再編 ●マンパワーの要請と活用
	感染 者 へ の 濃 支 援		●児童・生徒・保護者の検病と治療の支援 ●感染・濃厚接触者となった児童・生徒のプライバシーの保護と専門家を起用した精神的ケア ●検査・治療に関連した経済的支援	●初期感染者および入院者への精神的支援
	児童・生徒の健康 管理	●学校内に相談窓口設置 ●全校検病・健康調査の実施 ●ハイリスク児童・生徒の確認 ●児童・生徒・保護者への情報提供と感染予防行動の励行 ●検査・受診方法および自宅療養の場合の療養法、介護法、生活における注意点の周知	●相談窓口での対応(夜間・休日体制の実行) ●自宅療養法の情報配信 ●ハイリスク児童・生徒への対応 ●非感染症の児童・生徒と保護者への精神的支援	●児童・生徒・保護者に向けた感染拡大、蔓延化防止の励行と情報配信 ●ハイリスク児童・生徒への感染予防行動の励行 ●ワクチン接種の情報配信と推進
	学校 管理	●近隣住民・隣接した学校のサーベイランス情報の把握 ●教職員、保護者、近隣の住民との感染症、リスク管理等に関連した学習会の開催 ●訓練や研修での教職員の危機管理対応能力の向上 ●感染防護具および衛生用品の備蓄・管理 ●危機管理用の予算策定 ●インフルエンザに関連した資料の整備	●感染防止の方法、およびサーベイランス情報の把握 ●学校・学年、学級閉鎖に伴う、事前の学習支援 ●教・職員間の意見の統一(教職員会議) ●教職員・生徒の感染予防行動の徹底 ●部活動等の集団活動の生徒に対する健康状態観察の強化	●サーベイランス情報を活用した対策の実施と評価 ●サーベイランス情報を活用した学校・学年・学級閉鎖の決定と児童・生徒への自宅学習支援 ●教職員の感染予防の徹底 ●職員の健康管理と生活支援 ●教職員への精神的支援 ●予算補正の検討
お 非 流 行 先 手 域 対 応			●サーベイランスの情報収集 ●経験智の共有と新たな備え ●情報公開による経済的打撃防止 ●感染防御具使用の徹底 ●マスコミ対策	●サーベイランス情報の収集